

価格.com、「電気料金」に関する調査結果を発表！

「電力小売り自由化」の認知率は95.7%、「安くなるなら切り替え検討」が8割
切り替え検討目安は、「値下がり率10～20%」と6割の人が回答
電力会社選択の重視ポイントは「料金の安さ」(60.1%)がトップ！
～一部消費者では、現時点での情報不足により、手続きや会社選びなどに不安の声も～

カカクコムが運営する購買支援サイト「価格.com（カカクドットコム）：<http://kakaku.com/>」では、「電気料金」に関するアンケート調査を実施しました。2016年4月に始まる電力小売り自由化（※）の認知度や、電力会社の切り替え意向、切り替え時の重視ポイントなどについて聞きました。結果を一部抜粋してお届けします。

※電力小売り自由化とは

今までは特定の電力会社からしか電気を購入できませんでしたが、これからは一般家庭でも自由に電力会社を選べるようになります。電気料金プランを自由に選択できるようになるため、電気代の安さやサポートサービス、環境への配慮、ガスや通信とのセット販売、ポイントサービスなどさまざまなプランが提供されることが考えられます。

【調査パネル】

調査エリア：全国 調査対象：価格.comID 登録ユーザー

調査方法：価格.com サイトでの Web アンケート調査

回答者数：4,051 人

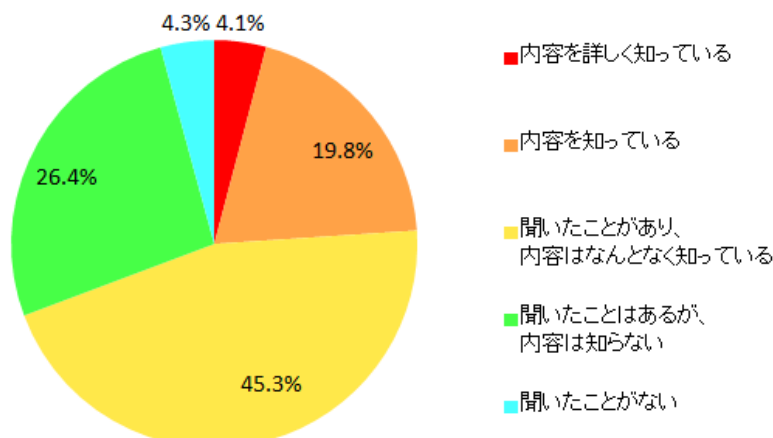
調査期間：2015年10月20日～2015年10月26日

調査実施機関：株式会社カカクコム ※四捨五入による端数処理のため合計が100%にならないことがあります。

電力小売り自由化の認知度：「聞いたことがある」が90%超、内容を把握している割合は約4分の1にとどまる

電力小売り自由化について、言葉を聞いたことがあるという人を含めた認知度は95.7%、内容を把握している人は全体の4分の1程度にとどまる結果となりました。

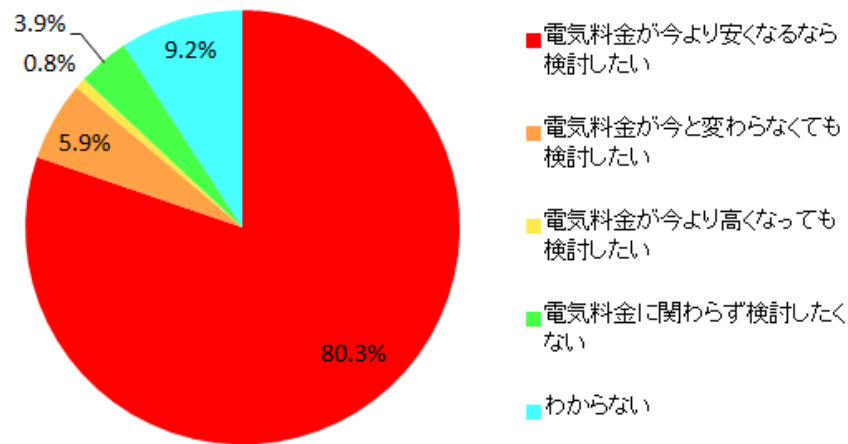
【図1 電力小売り自由化の認知度（単一回答）】



電力会社の切り替え意欲：8割以上が「検討したい」と回答

電力小売り自由化を機に、電気を購入する電力会社の切り替えを検討したいかどうかについて、「電気料金が今より安くなるなら検討したい」が8割以上と、切り替え意欲は非常に高いことがうかがえました。

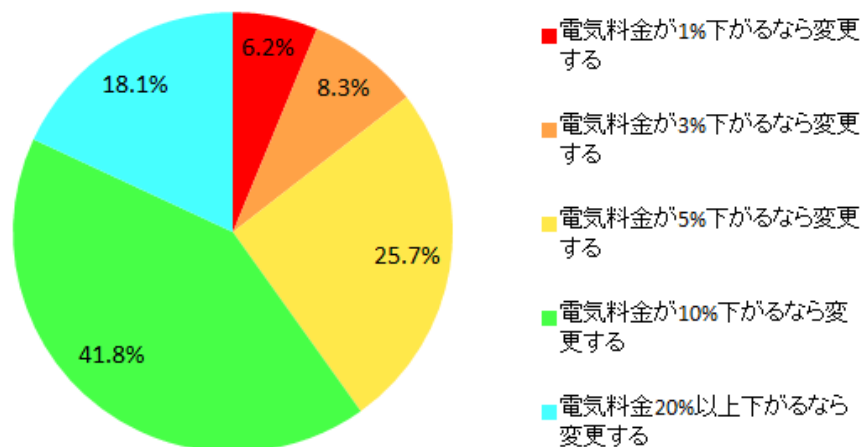
【図2 電力会社切り替えの意欲（単一回答）】



電気料金がどの程度下がれば電力会社を切り替えるか：「10%～20%」が最多。「1割以上」が全体の約6割を占める

図2で「電気料金が今より安くなるなら検討したい」と回答した人に、電気料金がどの程度下がれば電力会社を切り替えるかを聞きました。ボリュームゾーンは「10%～20%」という結果。全体の約6割の人で、今より10%以上電気料金が下がることが、切り替え目安のひとつになっているといえそうです。

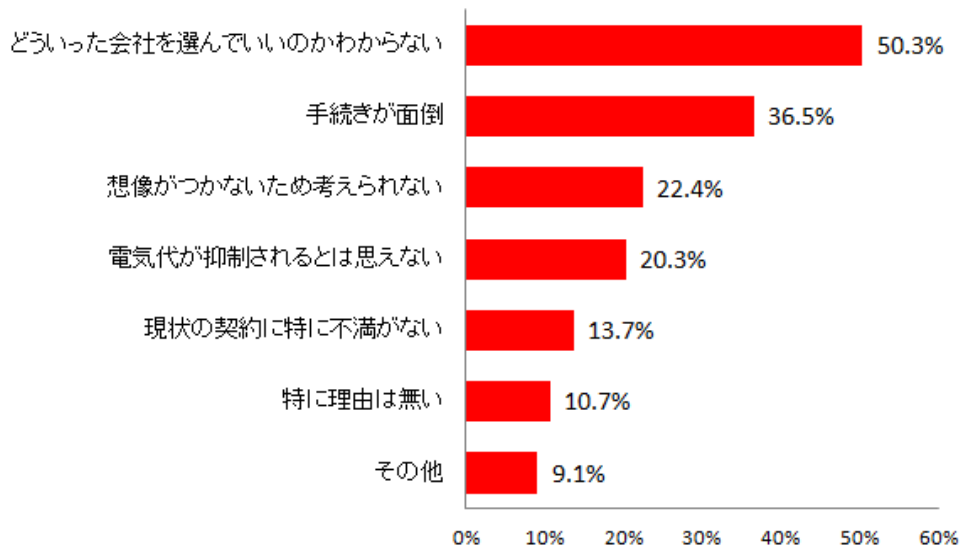
【図3 どの程度電気料金が下がれば電力会社を切り替えるか（単一回答）】



検討したくない理由：会社の選び方や手続きなど、現時点で提供情報の少ない項目があがる

図2で「電気料金に関わらず検討したくない」と回答した人に、その理由を聞きました。約半数が「どういった会社を選んでいいのかわからない」と回答、ほかにも「手続きが面倒」や「想像がつかないため考えられない」などがあがりました。興味がないというよりは、まだ十分な情報が現状ではあまり提供されておらず、スタート後にさまざまな観点から慎重に検討したいという消費者心理が読み取れます。

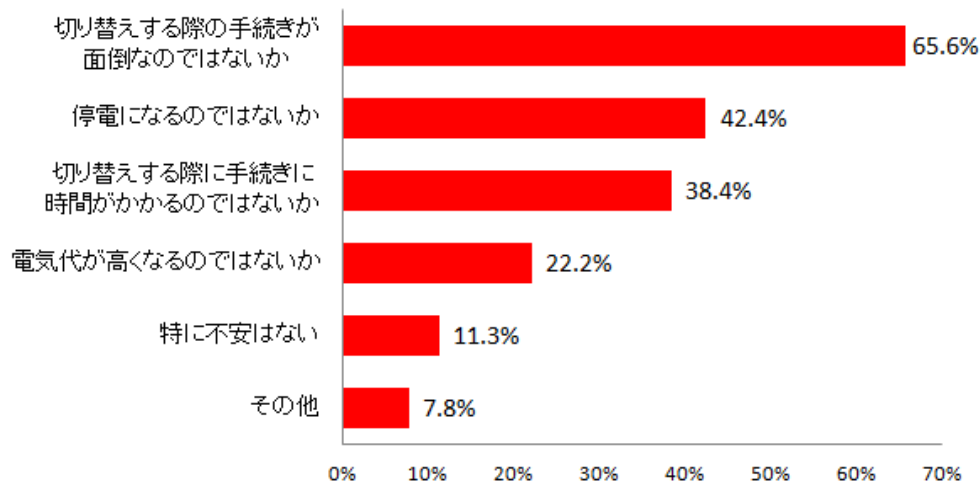
【図4 検討したくない理由（複数回答）】



電力小売り自由化で不安に感じること：「切り替え手続きの面倒さ」が最多

回答者全員に、電力小売り自由化で不安に感じることを聞いたところ、もっとも多かったのは「切り替え手続きが面倒なのではないか」で、現時点で詳細が不明なことが消費者側の不安につながっているようです。次いで「停電になるのではないか」があがり、これは、自由化開始後の電力供給の仕組みについての理解が進んでおらず、切り替えのタイミングで停電が発生するのではないかとといった心配が出ていると考えられます。

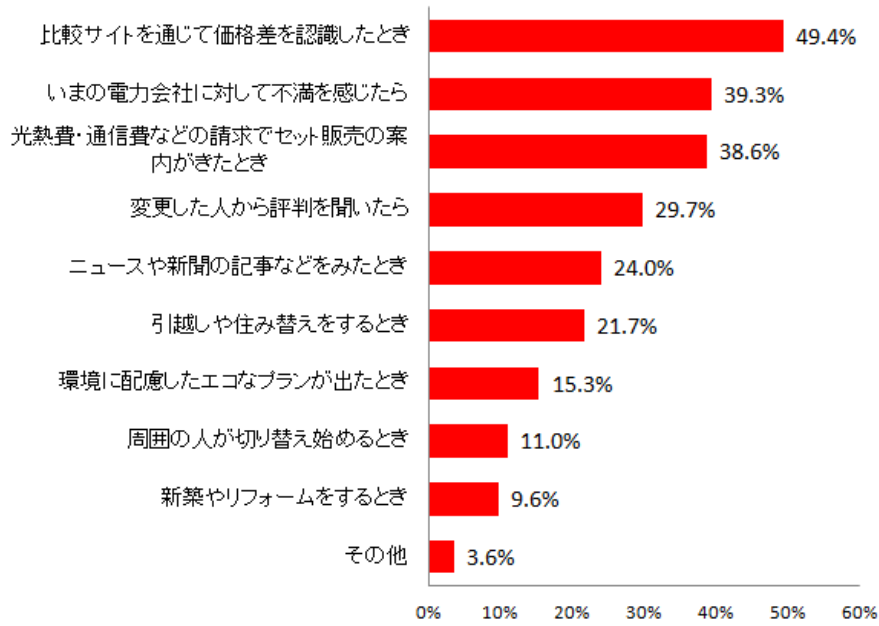
【図5 電力小売り自由化で不安に感じること（複数回答）】



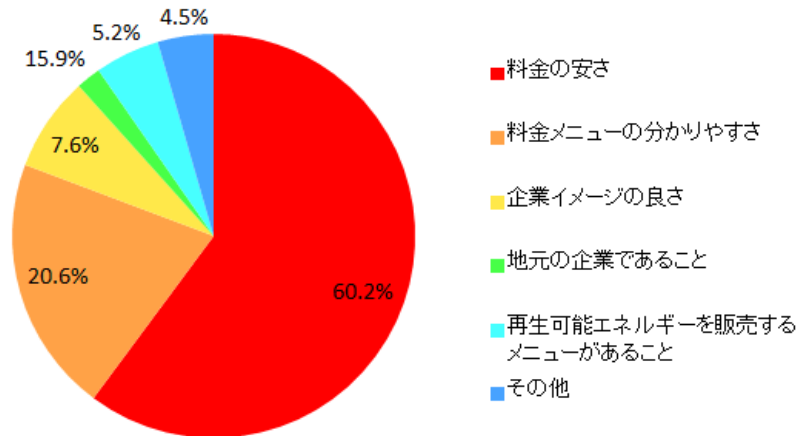
電力会社を切り替えるきっかけ：「比較サイトを通じて価格差を認識したとき」が最多

切り替えるきっかけについて、「比較サイトを通じて価格差を認識したとき」がトップに。また、電力会社の選択時に重視する点としても「料金の安さ」がダントツとなり、「価格」がもっとも重要なポイントになっています。さらに、期待する新メニューを聞くと、各種割引への期待度が高く、特に長期契約による割引に関心が高いようです。

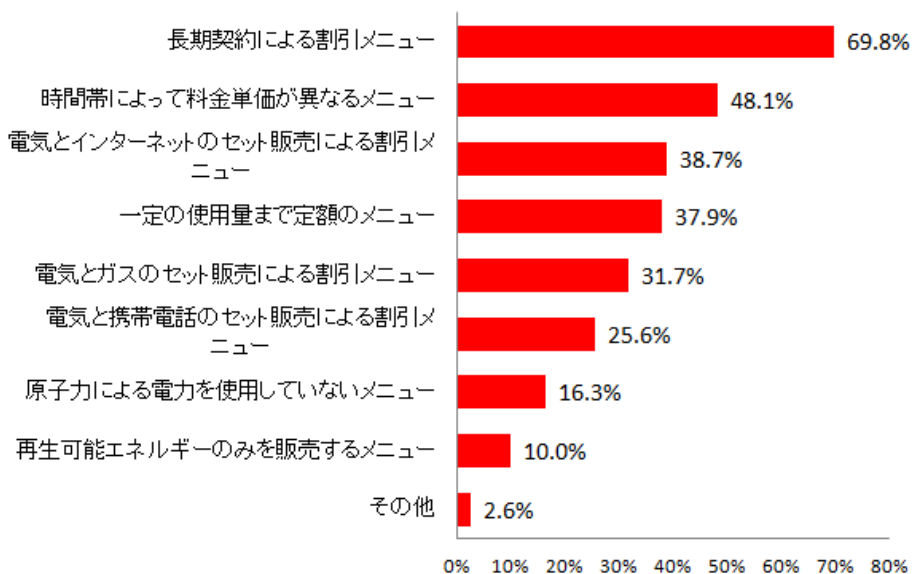
【図6 何が電力会社を切り替えるきっかけになりそうですか？（複数回答）】



【図7 電力会社の選択時に重視する点（単一回答）】



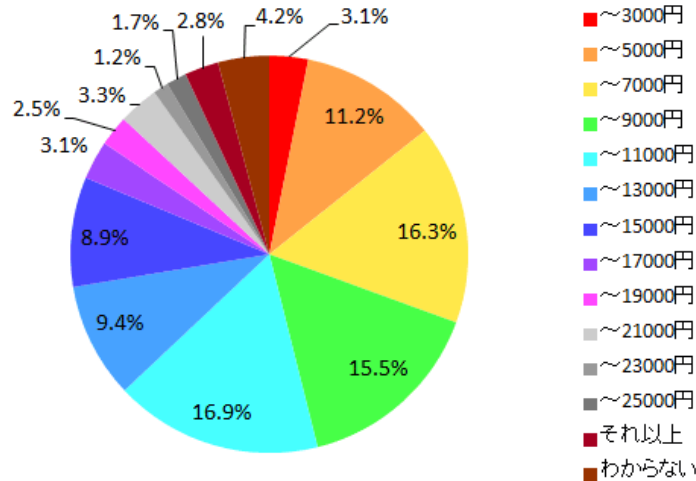
【図8 電力小売り自由化において期待する新メニュー（複数回答）】



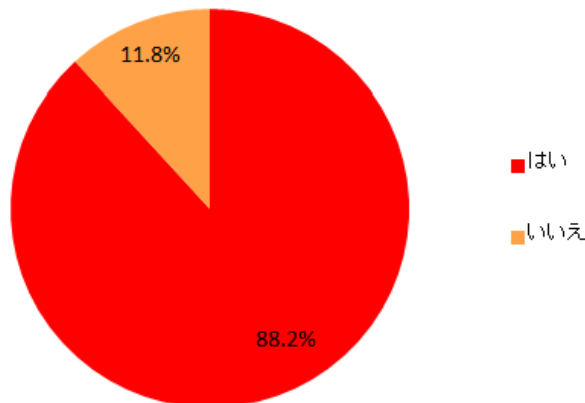
現在の月々の電気代：5,000～11,000円がボリュームゾーン。約9割が「高い」と回答

現在の電気料金事情について、月々の電気代は、家族構成などによってばらつきがあるものの、全体としては「5,000～11,000円」が半数以上を占めました。また、電気代については、約9割が「高い」と回答しました。

【図9 現在の月々の電気代（単一回答）】



【図10 現在の月々の電気代は高いと感じていますか？（単一回答）】



<まとめ>

今回の調査では、まず、電力小売り自由化がどのくらい浸透しているのかを聞きました。全体としては、言葉を聞いたことがある人は90%以上いるものの、内容を把握している人は全体の約4分の1程度にとどまる結果となりました。

続いて、電力小売り自由化の開始後に、電気を購入する電力会社の切り替えを検討したいと思うかどうかについて聞きました。結果としては8割以上が「電気料金が今より安くなるなら検討したい」と回答し、「検討したくない」はわずか3.9%だったことから、切り替えに対する消費者意欲の高さがうかがえました。

また、電力会社の切り替えにあたっては、価格がかなり重要なファクターとなることがわかりました。約6割の人が、電気料金が今より1割以上安くなれば変更の検討を考えており、電力会社選択時に重視する点では「料金の安さ」がダントツとなったこと、比較サイトを通じて価格差を認識すれば変更したいと答えた人が約半数にのぼることなどから、価格がある程度下がるのであれば電力会社を積極的に切り替えようと考えている人が多いようです。

この背景として、現在の電気料金に対する不満が見て取れます。各家庭における月々の平均電気代のボリュームゾーンは5,000～11,000円で、約9割が「高い」と感じており、ほとんどの家庭が電気料金の節約に取り組んでいます。

いっぽうで、電力小売り自由化にあたっては不安もあるようです。

「検討したくない」と回答した人（全体の3.9%）からは、その理由として「どういった会社を選んでいいのかわからない」「手続きが面倒」「想像がつかないため考えられない」などがあがり、現状の情報不足が要因となっているようです。また、不安な点としては、「切り替えする際の手続きが面倒なのではないか」、「停電になるのではないか」などの意見も目立ちました。

電力小売り自由化まであと半年を切り、主に電気料金の値下がりという点への関心は高まってきていますが、実際の節約額、手続き方法や、その他のメリット・デメリットがよくわからないといった意見も出ているため、今後も、消費者にしっかりと情報を伝えていく必要があるようです。

▼アンケート結果、および過去の調査アーカイブはこちらのページでもご覧いただけます

<http://kakaku.com/research/backnumber.html>

▼「価格.com 電気料金比較」：<http://kakaku.com/energy/>

電気料金プランのシミュレーション機能や、家電の「電気代チェッカー」、また電力自由化に関するニュース、電気料金の節約術など充実した情報を提供しています。来年の電力小売り自由化に合わせて、今後は新電力の料金プラン比較も提供する予定です。

電力自由化についての説明ページ：http://kakaku.com/energy/articlegroup/?en_articleGroup=1

【価格.com サイトデータ】（2015年9月現在）

月間利用者数 4,729 万人、月間ページビュー 8 億 2,824 万 PV、累計クチコミ件数約 1,900 万件

<月間利用者数の内訳> PC：2,468 万人 スマートフォン：2,229 万人 モバイル：32 万人

データの引用・転載時のクレジット表記について

本調査結果の引用・転載の際は、必ずクレジットを明記くださいますようお願い申し上げます。

クレジット表示例

- ・「価格.com」調べ
- ・購買支援サイト「価格.com」が実施した調査によると…